

静岡地区

商業	にぎわい	暮らし	その他	No.	タイトル	意見要旨	対応方針	計画に反映	今後の計画や取組の参考
			○	1	「4 どんな取り組みをするの？」における表現の統一	3つの柱の相互連携のもとそれぞれ施策として「何をやるの？」を掲げているが、「何をやるの？」に対して「誕生します！」等、問いに対する回答となっていない表現が見受けられるので「〇〇をします！」「〇〇を推進します！」等表現を統一してほしい。	今後、計画概要等を作成する際の参考とさせていただきます。		○
	○			2	域外や市外からの交流人口取り込みについて	「商業」「にぎわい」について、人口減少の傾向から域内のみで指標に掲げている数値を達成させることはハードルが高いことから、域外の中山間地や市外の自治体・関係団体との連携・協力を図るような施策も盛り込むことで交流人口を増加させ、その結果歩行者通行量等の増加につなげてほしい。	本計画案では、区域を定めた上で中心市街地の活性化を図りますが、ご意見のように、商業やにぎわいは区域内で完結するものではないことから、ご意見を参考に計画の推進をしていきます。		○
			○	3	全体的な街づくりについて	薬区と駿河区、清水区、それぞれに打ち出せる色が全く違うと思う。薬区には商業施設が割と充実しているが駿河区と清水区にはわざわざ休日に行ってみようと思う場所がとて少ない。それぞれ独立させた色を打ち出すのか、それとも共通のテーマを設けるのか、それによって全く街づくりが変わってくると思うがどういった方向性で行くのかよく分からないので何かの形で教えてほしい。特に清水区については役所移転の話もある。清水駅周辺の再開発をどういったコンセプトで行っていく計画があるのか？	本計画では、両地区ともに共通した都市像「いつでも活気に満ちあふれ、住む人、訪れる人をワクワクさせる中心市街地(まちの顔)の実現」を掲げておりますが、その手法はそれぞれの地区特徴を活かしたものを実施していくこととしています。具体的には、静岡地区では歴史文化を清水地区ではウォーターフロントを活かした活性化を推進していきます。ご意見の清水地区については、「清水みなとまちづくりランドデザイン」の中で清水港周辺地区における目指す姿を示していますので、こちらもご参考ください。		○
			○	4	居住の推進について	特定のエリアにおける居住者の増加は、一時的な児童数の増加につながる可能性があるため、教室不足が生じることのないように教育委員会と連携して施策を進めてほしい。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	5	体験や学びから心の豊かさを感ずることで人に優しくなれる心ゆとりのできる街づくり	物を得るのではなく学ぶ事、体験する事で成長し喜びを感じる事で心ゆとりができ、人に優しくなれる事で自分も相手も幸福を感じられる。物を満たすのではなく心を満たす事ができることで人に必要とされると思う。	ご意見のように、中心市街地の在り方を検討する中で、まちなかは単にモノを買う場ではなく消費の場へと変化してきていると考えております。いただいたご意見を参考に今後の活性化の推進を図っていきます。		○
			○	6	建物や街路のデザインについて	デザインは若い人の意見を最大限取り入れて下さい。おじさんおばさんの感性のみで作らないでください。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	7	コンパクトシティの実現	コンパクトシティの実現とともに、山間地域の過疎化・高齢化への対応	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	8	老朽化した施設の更新について	老朽化した施設の更新について、市には良い知恵はありますか？呉服町通りには、昭和30年代に建設された、共同ビルがあります。所有者も代替わりしており、空き店舗もありますが、継続して営業している個店もあります。それぞれの事情もあり、再開業には多くのハードルがあると伺っています。遅かれ早かれいずれ建て替えを検討する時期も来ると思います。計画を具体化する方向性を見つけないかと思っています。	知恵に対する直接的な回答は出来かねますが、本計画案では「訪れたいくなる商都」の実現を目指すため、基本方針に「魅力的な人と出会う新しい価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上」を位置付けています。これらの実現のためには、ご意見の再開業の推進も含まれますので、今後の取組の参考とさせていただきます。		○
			○	9	自然との共生	緑あふれる街づくり	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	10	「一旦大都会へ出た若者が、地元に戻ってくるような過こしやすい魅力ある街づくりを目指す」という共通テーマを設定して欲しい。(東京、横浜、名古屋、京都、大阪に挟まれた静岡の街の生き延び方を明確に打ち出す必要がある)	若者が少ない街は活性化しない。(老人天国では、いずれ衰退する。)意欲があり能力がある若者が大都会を目指すのは止められない。彼らが、再就職時や家庭を持つときに戻ってきたくなるような街づくり(就業先、文化・ヘル、スポーツ施設、グルメ)を、上記1～12の施策の共通テーマに指定することで、ぶれない(焦点がぼけない)政策を進めて欲しい。	本計画案では、若者も含めた「住み続けたいくなる商都」を目標に掲げ、移住等の取組のほか様々なソフト事業を実施することで戻ってきたくなるような魅力づくりを推進していきます。		○
	○			11	「買い物を楽しむ空間づくり」の空き店舗対策やチャレンジショップ支援を、商店街に該当させて欲しい。	「買い物を楽しむ空間づくり」商店街は「空き店舗」が目立つようになると、急速に魅力が無くなる。商店街へのナショナルチェーン店の出店が難しい現在、地元の意欲的な個店や若者やネットショップが出店できるような支援策(チャレンジショップ、ポップアップショップ、内装費支援・敷金や初期料金の軽減措置等)が行えるような補助制度の商店街への導入を要望します。	本計画案では、ご意見のチャレンジショップや商店街の空き店舗対策事業等の事業化の検討を進め、買い物を楽しむ空間づくりの実現を図っていきます。		○
			○	12	タイトルなし	問1の12項目はすべて大切なものであり、期待しない項目はひとつもない。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。	○	
			○	13	タイトルなし	かつて静岡市に住んでいました。今は仕事の関係で関東に住居を移しています。外から見て思うことは、やっぱり静岡は過ごしやすいくらいです。この変哲もないことが、一番の魅力であることを知っていただきたいです。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	14	全項目	本計画を推進するにあたり、地域に根付いたまちづくり団体と協調して行ってほしい。特に、I Love しずおか協議会は民間企業や団体、個人等がオール静岡で参画しているまちづくり団体なので、経営資源が豊富であり、活動のインパクトは大きい。	ご意見のとおり、まちづくり団体は中心市街地の活性化を図る上で重要な役割を担う存在であると考えております。現在、各種会社や事業等で様々な接点を持ちながら連携を図っておりますが今後も協調しながら本計画案の推進をしていきます。	○	
			○	15	静岡市北口地下	シズチカの生かし方は早急に取り組むべき。	本計画案では、「人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりによるにぎわいの創出」を基本方針としており、ご意見の駅前も含めたにぎわいを図っていく必要があると考えております。ご意見については、参考とさせていただきます。		○
			○	16	定住人口対策の推進	こちらが見てないだけかもしれないが、学びの場、というものを多く出してほしい。資格や趣味、そこから人生が楽しめるものへと。静岡市で学び、世界へ	学びは本計画案の方針として明確に位置付けてはおりませんがご意見の学びも含めた様々な要素や機能を持つ中心市街地になっていくことが大切だと考えております。ご意見につきましては、参考とさせていただきます。		○
			○	17	歴史博物館とおまちの共生	静岡の歴史に興味があつて来静した人たちは、KIOSKで「わさび漬」「あべ川もち」をおみやげに帰るのを望んでいるとは思わない。もっとディープな世界を知って楽しんでいただきたい。そうすれば泊っていただける。博物館と「おでん街」「静岡の遺産的な店」「こだわりの逸品」とおまちの寺社めぐりをコース化	本計画案では、「人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりによるにぎわいの創出」を基本方針としており、ご意見のような静岡の魅力を紹介する様々な取組が商店街や民間団体等で行われています。ご意見の取組については、参考とさせていただきます。		○
			○	18	移動手段の整備による回遊性の向上	中心市街地の外ワクを結ぶ路線バス。中心市街地を活性化するには、「るくる」「常盤公園」「浅間神社」「駿府城公園」「日吉町」の外周を結ぶラインを自由に移動させれば、中心市街地は行きかえる。JR西改札をつくりAOI前に結接点を置けば、効果絶大。山手線内側が展開しているように中心市街地を囲む移動手段があれば、自然に内側とまたその周辺外側も発展する。本当は空中ゴンドラでもあれば、ランドマークになるでしょうけど。	本計画案では、「居心地が良く暮らし続けられるまちづくりの推進」を基本方針としており、シェアサイクル等中心市街地での移動の利便性を向上させる取組を実施します。ご意見の取組については、参考とさせていただきます。		○
			○	19	全般	市の様々な計画で都市像をかかげている、方向性がよくわからない。諸計画がそれぞれ肥大化して、体系的にまとめられていないような印象この計画のみを読むとワクワクする計画となっており、がんばってほしいと思う。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。	○	
			○	20	成果指標について	参考値R1→基準値R2→推計値R8→目標値R8とあるが、どうやって目標値を出したのかわからない	目標値の基本的な考え方として、近年の推移から推計値を算出し、推計値に対して取組の効果を加算することで目標値を設定しています。		○
			○	21	住み続けたいくなるまち	移住、定住を促進するなら「住みたいまち」でいいのでは？それより商業地域に人が多く住むのはどうかと考える	本計画案では、「居心地が良く暮らし続けられるまちづくりの推進」を基本方針としておりますが、その意味は、既に住んでいる人にとつての暮らしの魅力、本市に移り住む人に対する暮らしの魅力の両方の視点を持ち合わせています。また、商業地域への居住者の増加については、商業の発展は足元の人口との関係性も高いことから中心市街地人口を目標として設定しています。		○
			○	22	タイトルなし	人が訪れたいくなる、歩きたいくなる、人のゆとりのある、ふれあいが生まれる”まち”であって欲しい。	本計画案では、「にぎわいのあるまち」の実現を目標とし、歩いて楽しい空間の創出に向けた取組も実施していきます。	○	
			○	23	タイトルなし	星をきれいに見ることができる場所をつくってくださるとうれしいです	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	24	中心街への緑の増量	中心街において、緑すなわち自然が少なすぎないように思えるので、街路樹や生垣等があつてもよいのではないか。(生垣は車の衝突時にも衝撃吸収の役割を果たすと共に、ヒートアイランド現象の軽減にも役立つ)コストコ…?	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	25	再開発	大谷のところがいっぱい工事してて、行き止まりにはまる。少しずつやってほしい。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	26	大型商業施設など	買い物したい時、お店数が少ないからどうしても東京や名古屋に行かないといけないから、誘致してほしい。	本計画案では、「訪れたいくなる商都」の実現を目標としており、中心市街地の商業を魅力を高めていくため、チャレンジショップや空き店舗対策等の事業の検討を進めていきます。		○
			○	27	コストコ誘致		いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	28	期待しています!!	中心市街地活性化計画には、期待しています。しかし、「活性化」と近年の感染症に対する「安心・安全」の両立についても、是非ご検討いただきたいと思います。	本計画案では、ご意見のとおり新型コロナウイルス感染症に対する安心安全の取組として、イベントにおける感染症拡大防止のための対策事業も実施する予定です。		○
			○	29	タイトルなし	観光客が増える→自慢の街だと認識する→静岡市がもっと好きになる。	本計画案では、「人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりによるにぎわいの創出」を基本方針としており、ご意見のように観光客を含め中心市街地地区域から多くの人々が来街する取組を実施していきます。		○
			○	30	人の流れがある街づくり	商店街の空き店舗を減らすにも、大型商業施設に入るようなテナントが分散して入居すれば人の流れもつくれると思います。(やはり大型商業施設だけに人が集まるのでは浜松と同じな気がします)	本計画案では、「訪れたいくなる商都」の実現を目標としており、大型商業施設と商店街が集積する静岡の魅力を高める取組を進めていきます。		○
			○	31	タイトルなし	静岡の良さを再発見してもらう事を考えてもらいたい。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	32	タイトルなし	どの施策も静岡市には必要不可欠な項目ではありますが、まんべんなく投資(ヒト、モノ、カネ)するよりは、少ない方策に選択と集中し尖らせた方が、静岡らしさを演出することができると感じています。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	33	用語解説集	最終ページの用語解説集よりも、脚注のほうが分かりやすい。せめて、脚注番号があるとうい。目次に、用語解説集が無い。	目次に用語解説集を追記しました。		○
			○	34	どれも、市街地の活性化につながる取り組みだと思った。	空欄	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	35	北街道の整備について	今後、歴史文化施設のオープンや大河ドラマの放映など、本市における観光トピックスは、歴史文化だと思います。特に駿府城エリアを中心としたタイプローションが重要になると考えますが、北街道の整備が周りの整備と遅れをとっているに感じます。様々なステーションホルダーがいるため、一筋縄では行かないと思いますが、魅力的な個店もたくさんあるので、景観的な課題や道路幅の課題など行政でカバーできる部分についてはもっと主体的に整備を進めてほしいです。	本計画案では、「訪れたいくなる商都」の実現を目標としており、ご意見のように歴史文化の活用や道路空間の整備方法等の検討なども進めていきます。		○
			○	36	居心地が良く暮らし続けられるまち	静岡市は住みやすく、街中も地方都市にしてみても賑やかであると思います。ただ、子供が生まれてからは、子供を連れておまちなに行くことも少なくなり、どちらかといえば、子供が安心して遊べる環境がある大型店に行きがちです。そういった点から、街中にも、子供が安心して遊べる場所があるとより良いと感じます。また、子供を連れて歩くのは非常に大変であり、もう少し子供連れが移動しやすい環境があると助かります。その他、札の辻ビルに子育て支援センターもあるのですが、そういった施設と連携すること、また街中の魅力に広がりがあるのではないのでしょうか。今後、この計画の推進により、一層魅力的な中心市街地になることを楽しみにしています。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	37	これからも中心市街地の活性化に期待しています!	自分は、生まれも育ちも静岡市です。大学在学中に一時的に市外に住んでいましたが、住み慣れた静岡市に戻ってきました。静岡市の中心市街地は、子どもの頃から大好きで、「おまちなに行く」となるとワクワクして出かけたものでした。大人になってからも、多くの大型商業施設が密集している静岡地区の中心市街地では、買い物をするのに便利で街を歩く楽しみもあります。出産してからは、子どもと街に来る機会もありました。静岡駅から徒歩圏内に自然を感じられる駿府城公園があったり、札の辻に中央子育て支援センターがあったり、さまざまな魅力を感じます。これからも、中心市街地活性化基本計画の推進により、より魅力的で活気のある中心市街地となっていくことを期待します。子どもが大人になったときにも、今の魅力的な中心市街地が残されていることを願います。最後に、清水地区は居住地から離れているので普段あまり行く機会がないのですが、計画を拝見したところ新たな事業がどんどん展開されていきそうなので、また遊びに行きたいと思っています。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	38	訪れたいくなるまち、にぎわいのあるまち	駅前エリアに放射状に広がる駅前下通り、御幸通り、けやき通り、呉服町通り等へ、それぞれの特徴づけをしていくと良いと思う。各通りの特長は過去の歴史と現在ここに住む方々から湧き出し、それぞれが、何かに特化した通りだと面白。「歴史文化の拠点」「海洋文化の拠点」をその特徴に絞ってみたいのには、そして、それらの「通りの集合体」として静岡市駅前という個性を作り出したら良いと思う。静岡といえば、面白く通りがたくさんある街だねと誰もが思うような取組が継続的にできるというのには、と思う。さらに、各通りには象徴的なモノを設置し、それぞれの通りがそれぞれの個性を持って「常に何か新しいことに触れられる」場所になることで、何度も訪れたい、常に賑わいのある街になると考える。	本計画案では、「魅力的なお店が出会い新たな価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上」「人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりによるにぎわいの創出」を基本方針としており、ご意見のように地域の特徴を活かした商業集積やにぎわいの創出が図られるよう様々な取組を進めていきます。		○
			○	39	「魅力的な個店の拡大」のお店のコンサルティングについて	私が大学で所属するゼミでは、毎年静岡市と連携して静岡市内の小売店を対象とした大学生によるお店のコンサルティング事業を実施させていただいており、今年度もコロナ禍でありながらオンラインでの会議など工夫して活動を進め、小売店の経営支援はもろん大学生が座学では学習しづらいさまざまな貴重な経験をさせていただき、双方にとって有意義な活動を行うことができました。毎年ゼミ内で取り扱える店舗の数には限りがあるため、この活動を大学や場合によっては高校や専門学校、そして静岡市内の小売店に広く発信することで活動に興味や関心を持つ人を増やし、若者の学習機会の創出や小売店の経営支援に努めていただきたい。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	40	生活環境の整備について	現状でも静岡はとても住みやすい場所だと感じています。そのため、生活環境を整備しても改善を実感しにくいのではないかと感じました。それよりも、自粛で県内の観光スポットや施設は行き尽くした感じがするので、新たな施設やイベントといった、新しいことを始める方が個人的には引きつけられると感じました。	本計画案では、ご意見のように新たな施設整備やイベント事業の実施を予定しており、新たなにぎわいづくりを進めていきます。		○
			○	41	核となる施設の魅力拡大の松坂屋について	松坂屋に水族館ができるという話を聞きました。私は水族館が好きなのでとても楽しみです。そのため、告知やまだこのことを知らない人に向けての情報発信をもっとしてほしいと思っています。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	42	タイトルなし	高齢化人口の増加により過去に経験したことがない社会生活の変容が表れている。市街地活性化を考えた時に、過去の経験や実績の焼き直しは通用しない。また、すべての世代を網羅するような施策も意味をなさない。世代の絞り込みによる需要の喚起を目標に掲げた、過去に例のない新しい施策への挑戦が必要だと考える。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	43	タイトルなし	大学生、高校生の授業がオンラインになったと想定し、自宅で授業を受けるよりは街中のオフィスなどで授業を受けられるスマートオフィスのようなものがあれば、授業の合間にも消費が発生すると仮定される。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	44	タイトルなし	この多くの課題をクリアできるよう、行政さんの積極的な取り組みをお願いたします。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	45	町は劇場	コスプレというイベントや撮影できる場所を増やしてほしい。また、コスプレイヤーを起用し町をPRしたらどうか？他とは違う静岡を魅せるチャンス	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			○	46	タイトルなし	このアンケートのセキュリティを、高めることが大切。暗号化もしていないなんてあり得ない。	どの部分をご覧になってのご意見かは明確ではありませんが、本フォームは暗号化されており、セキュリティは担保されており安心してご利用いただければと思います。		○
			○	47	資料1、柱その3の成果指標	4の取組の内容が成果指標に反映しないのではないか	本計画案では、成果指標に対し直接的な効果がある取組だけでなく、間接的な効果や取組を一体的に推進していくことで総合的な効果としての波及も見込んでいます。		○

○			48	タイトルなし	空き店舗の多い商店街を、作家さんなどに貸して(全国からよぶ)1つのエリアとして町づくりをする。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
○			49	静岡地区のにぎわい	買い物などで静岡に行く機会が多いのですが、地元にはない魅力ある店舗や大道芸ワールドカップなどのイベントによって、いつもにぎわっている印象があります。コロナによって、そのにぎわいがなくならないように、いろいろな対策をしてください。	本計画案では、「人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりによるにぎわいの創出」を基本方針としており、ご意見のようにコロナ禍で減少した賑わいを取り戻していきけるよう各取組を進めていきます。	○	
		○	50	5について	駅、商業エリアから駿府公園(さらには市民文化会館)までの動線をもっと明確化できないか、と日頃から感じています。市外の方から地下街が迷路、セノバまでの行き方がわからない、駿府公園までは歩いていけるのか、等々よく聞かれます。市街地一体化のためにも経路と表示にひと工夫をお願いしたいです。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
		○	51	自然災害の危険性について述べているところがありません。	日本でもトップレベルの震災が予想される地域であることを忘れてはならない。危険を市民にもっと呼びかけてほしい。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
		○	52	タイトルなし	温暖な気候、車で30分もあれば山、海、街中に行ける、東京・名古屋に通動できる距離、私のまわりの30～50代の転勤族は静岡市に永住を決めた人も多くみられます。全国的に見て、静岡市ほど恵まれた地方都市は少ないと思います。また、地方の商店街は疲弊し、大通りのないシャッター街が多い中、静岡市中心街は様々なイベントが開催され、最盛期ほどではありませんが、依然として活気のある魅力的な街であると感じています。しかし、今後はインターネットでの商品の購入など人々の生活様式が変化していくなかで、街も変化が必要になっていきます。静岡市中心市街地の活性化は市民の利便性、活力に必要なことであり、官民一体となって進めていきたいと思います。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
○			53	「空き店舗対策」	出店のハードルを下げる支援等があるのであれば、もっと知らしめていくべき。	本計画案では、「魅力的なお店が出会い新たな価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上」を基本方針としており、ご意見のようにチャレンジショップや空き店舗対策事業等の事業化を検討していきます。		○
○			54	商業	魅力的な店が増えるような支援をお願いします。	本計画案では、「魅力的なお店が出会い新たな価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上」を基本方針としており、ご意見のように魅力的なお店を増やすためのチャレンジショップや空き店舗対策事業等の事業化を検討していきます。		○
		○	55	中心市街地活性化の必要性の周知	郊外型店舗が増えることによる中心市街地の衰退は、都市の活力の減につながり、非日常的(感)を味わう場の喪失に感じているため、中心市街地の再開発等に税金を投入したり、中心市街での商業・観光イベントの実施等が必要と感じられる、再認識してもらう計画になってもらいたい。	本計画案では、「魅力的なお店が出会い新たな価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上」を基本方針としており、ご意見のように中心市街地における再開発事業の取組や商業活性化を進めていきます。		○
		○	56	12番について	バリアフリーとかノーマライゼーションと、久しく言われてきたがどこまでがそうなのか、何をどうすればよいのかという範囲が広くて、期待してみるとこれだったんだという風に期待が外れることが多かった。静岡市は全体的にみて、人間中心のウォークアブルシティを目指していることは大賛成ですが、実際に街中を歩いてみると相当なストレスがあり、決して快適とは言えないのではないかと思います。車、自転車などはもちろんありますが、私が以前より感じていることは、誰もがストレスなく歩ける、利用できる街路であるということ。それは「フラット」な床面を形成するということ。いろいろな制約があることは重々承知です。でも、安心・安全でバリアフリー、誰もが恩恵を受けられるようなものを目指すべきだと思います。フラットとは、歩道と車道の段差を無くし、スムーズな移動を実現することです。たとえば、車椅子に乗った方が街中を散策するとき歩道は良いのですが、次の街区へ行くときに車道を越えていかなければなりません。これをいストレスなのです。道路の構造から勾配があったり、車道と歩道の床面が違う素材になっていること、緑石には段差がいくらかついています。これがやっかいなのです。水はけの為に車道は緑石に向かって傾斜しているし、歩道は店舗内に水が入らないように車道に向かって傾斜しています。その接点は相当な溝、凹みになっています。これを越えることが非常に勇気と決断と注意が必要です。小さな車輪がその溝、凹みに入ると相当な衝撃があります。気を付けないと前のりに転倒してしまいます。これで、バリアフリーといえるのでしょうか。車椅子の例をあげましたが、歩行器やキヤリーバックなども同じことが言えます。さらに、商店に荷物を届けてくれる運送の方、おかげさまで商店街周辺にデポを作っていたところを寄附き場所にして台車で商店に配達してくれています。以前はトラックで呉服町通りを各商店の前まで行き、荷物を届けてくれたのですが今は台車でお届けいただき感謝しています。その台車で運ぶ際に、ここでも歩道道の境目が鬼門になっていて、荷物を落とす中身が破損してはいけないと神経を使うところです。もしフラットになったらそれだけ楽になるでしょうし、商品を安全に届けられることではないかと感じています。七間町通り、呉服町通りだけやき通りのエリアをスムーズにストレスなく回避できるようにするには、まずはそのエリア内の人々が歩くところをフラットにすることで、通りの歩道道のすべてをフラットにするのが理想ですが、少なくとも街区から街区へ渡るところ(そこは車道)は平坦(フラット)にするべきです。十字路の部分歩道面と面を合わせて、フラットにすることで、最近では、旧青葉小と城内中の間の通りの横断歩道はフラットになりましたし、アイセル前は完成時から歩道も色は変えてありますが、歩道を優先した作りになっていて良い例だと思います。このフラットにすることについては、段差をつけなくてはならない、段差がないと視覚障害者が車道にはみ出してしまい危険などフラットにできない理由がいくつも出てきますが、それをどう解決していくかが問われるし、工夫のしがいがあるところだと思います。歩道のなかに発信器などを埋め込んで視覚障害者の誘導をすとか、道路の傾斜については埋め込みのU字溝を使えばフラットになり解決できます。このようにフラットにして車椅子、台車などがストレスなく通れる基本的な構造にすべきです。歩行者にとっても歩きやすくなります。現状が当たり前になっているの、ほとんどそうい意識は感じないので、フラットにすることに意味がないとおっしゃる方もいますが、たとえば同じ階段でも浅間山の石段と久能山の石段では、全く違います。ストレスを無くすことで、歩調が進み長い距離をすることが知らず知らずのうちにできるようになります。ぜひバリアフリー構想に、このフラット構想を最優先で入れていただければと思います。	いただいたご意見のように、誰にとっても快適に過ごせる中心市街地となるよう、基本方針「居心地が良く暮らし続けられるまちづくり」を進めていきます。いただいたご意見については、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
○			57	8番について	お洒落な空間の演出、いいですね。テラスの整備、デッキテラスに座っている人と道行く人がつよい空間だと思います。そういう空間はどのようにすればできるのか、ということですが、静岡市が街中を自分たちで、あるいはあるデザイナーの設計で作り変えることができるなら、そういうこともできるでしょう。しかし今現実にある街をそのように変えるのはできません。唯一、2番の再開発事業、大型商業施設、老朽化した施設の更新をうまく行えばその可能性はあると思います。現実には厳しいですが、たとえ再開発事業ですが基本的には四方を道路に囲まれた街区が単位になります。街区内をまとめているのは時間と労力がかかります。何十年後か後に来たとしても、今の再開発事業ではなかなか周辺の道路を巻き込んで行うことはできません。今度御幸町通りの理工科大学の入るビルの再開発については、駅からの地下通路をうまく連携させると聞いていて、いい方法だと思います。葵タワーも地下街とつながっているのが若干ですが街路と関係しています。ただそれはそこへたどり着く通路を治すということだったと思います。呉服町タワーは歩道をセットバックしてゆりの空間が生まれ、雰囲気も都会的で良いと思います。札ノ辻クロスビルは、呉服町商店街と軒先を合わせるという意味で前の通り側は下がらずに裏側をセットバックしてあります。エントランスの吹き抜け空間も素敵にできていますが、できればもう一工夫あればよかったのではないかと思います。それはたとえばもつれ、お洒落な空間、意識した空間があればと思います。地権者の権利の問題もあつたと思います。もう一つは、呉服町通りの向かい側に伊勢丹があるということです。なにかもう少しその間の街路を伊勢丹と一体になるかのような演出ができれば、良かったのではないかと思います。お洒落な空間、テラスの整備などこういった場所のできたのではないのでしょうか。でもそれは地権者だけではできません。建築デザイナーだけでも絵に描いた餅になります。やはり中心市街地をお洒落な空間にするには、行政と再開発事業者と周辺の商店街との連携が無ければできません。ただ単純にエントランス広場を敷地内に作っても生きてきません。そういうお洒落な空間にしたいウォークアブルで楽しい空間にするのであれば、断片的な開発では、それぞれが失敗する可能性があります。周辺も再開発ビルと一体化して空間づくりをすれば、建物も生きるし街路も快適な空間になり、3倍4倍の効果が出ると思います。行政にはそこを気概持って頑張っていただきたいのです。あれもダメ、これもダメではなく、それがこれならできるといふ姿勢で臨んでほしいと思います。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
○			58	3番について	この項目は8番と共通しています。やはり、総合的な計画の一部としてのアーケードや街路灯、イルミネーションかと思っています。そういう意味で期待する項目に入りました。	計画案では、それぞれの取組の効果は個々に完結するものではなく、ご意見のとおりお互いに波及し合っていくものと考えております。これらの取組を一體的に推進し総合的な効果を高めていきます。		○
○			59	タイトルなし	商店街の魅力的な個店の拡大を支持します。他市で暮らしたことのある私には、静岡駅前がドーナツ化していない県庁所在地は珍しいと思います。まだまだ呉服町をはじめとする商店街を絶やさないでいただきたい。大型商業施設ができること、街は必ず空洞化します。その塩梅をよくよく考えていただきたい。今後、市はますます高齢化します。運転を辞めた高齢者にとっては、実は街中が一番アクセスしやすいです。バスの沿線がたくさんあるからです。大型施設は行くまでが大変です。シャトルバスもありますが、時間の融通がききにくいですし、自宅から必ずしもアクセスがよいとは限りません。どうか、貴重な駅前商店街を中心とした街づくりをあきらめないでください。そして、清水に大型書店がなくなったことは非常に残念です。書店は厳しいですが、是非誘致していただきたいです。	本計画案では、「魅力的なお店が出会い新たな価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上」を基本方針としており、ご意見のように本市の商業の特徴である商店街の集積に引き続き努めながら利便性の高い中心市街地の形成を進めていきます。		○
		○	60	歩いて楽しい空間の演出のために自転車との共存を図りたい	自転車の街「静岡」として、自転車の運転・走行に対する幼少の頃から知識・マナーを学習していく仕組みづくりの実現ハード面としては、買物客が安心して停められる駐輪場の整備及び確保	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
			61	魅力的な個店の拡大	古くからあるお店が年々減っていき寂しく感じていたので、楽しみにしています。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
		○	62	タイトルなし	風光明媚な土地であり、海・山が近く観光や定住に優れた所を全国にアピールしてほしい	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○
		○	63	タイトルなし	「暮らし」と「にぎわい」「商業」すべてをとるのは難しいので柱を減らした方がよい	3つの柱は中心市街地の活性化を目指す上で重要な要素であり、達成の見込みに関わらずこれらの機能は高めていく必要があるものだと考えています。		○
		○	64	タイトルなし	この2年間のコロナ騒動により人が集まることやにぎわうことに対し避ける傾向が市民の中で高まってしまっている。これらを鑑みないで計画を作成しても予算が無駄になると思う。	本計画案では、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、ソフト事業における感染症対策事業を実施するなど、コロナ禍における取組も新たに追加しながら活性化を目指していきます。		○
		○	65	魅力的な個店の拡大	呉服町通りや七間町通りが古くからの中心市街地だと思っています。大規模な再開発で新たな味を作るよりも、通行人が集められるように、個店の魅力を高める方策をお願いします。昔は呉服町通りにドラッグストアやチェーンの居酒屋はあまりなかったと思います。これらを否定するわけではないのですが、中心市街地へ行きたいと思わせる魅力としてはどうかと…。	本計画案では、「魅力的な人とお店が出会い新たな価値を創造するまちづくり」を基本方針としており、ご意見のように商店街や個店の魅力も高めるため取組を進めていきます。		○
		○	66	5年以降	5年スパンで事業を行って終わりにしてください 5年間で何をやる主張が強すぎる	本計画案は、中心市街地の活性化に関する法律に基づき作成しており、計画期間を明確に定め、その期間内における取組をまとめたものとなっております。5年間フォローアップを実施していきながら事業の見直しや新たな検討等を行っていきます。		○
		○	67	にぎわいのあるまち、暮らし	コロナの影響から、葵スクエアなど以前ほどの賑わいがなくなってしまっているが、今後はコロナ禍で生まれた「新しい生活様式」を無視した計画はあり得ないと思う。また、基本計画への意見として論点がずれているかもしれないが、静岡市は人口減少が著しく、さらに生産年齢が減少することが懸念されている中、特に課題となっている若年層の流出を防ぐことが、にぎわいのあるまちに発展していくのではないかと。	本計画案では、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、ソフト事業における感染症対策事業を実施するなど、コロナ禍における取組も新たに追加しながら活性化を目指していきます。また、人口減については、移住促進事業等の直接的な取組を実施していくほか、中心市街地を含めた市全体の魅力を高めることが結果的に人口増加にもつながっていくものと考え、活性化に取り組んでいきます。		○
○			68	空き店舗・空き物件の有効活用と若い創業者へのサポート!	一定期間の間、空き店舗を利用していない所有者に対して固定資産税の引上げなどをして積極的な利用促進を促す	ご意見のような固定資産税の引き下げは検討しておりませんが、魅力的なお店を増やすための取組(チャレンジショップや空き店舗対策等)の事業化を進めることで新規事業者や空き店舗の減少を図っていきます。		○
○			69	核となる施設の魅力拡大	物販の大型商業施設は多くあるが圧倒的にエンターテインメント施設、時間消費型の施設が少ないので増やしてほしい	ご意見のように、中心市街地の在り方を検討する中で、まちなかは単にモノを買う場ではなく消費の場へと変化してきていると考えております。いただいたご意見を参考に今後の活性化の推進を図っていきます。		○
		○	70	定住人口対策の推進	長期的には人口減少の歯止めが掛からないと中心市街地の地盤沈下は避けられないと思う。中心市街地近辺に特に若い人が集まりやすく住みやすい環境をつくったり、学校を誘致したりするのは公でできないので、長期戦でがんばって取り組んでいただきたい。	いただいたご意見につきましては、今後の中心市街地活性化の参考とさせていただきます。		○